

MEIKEI, making the difference.



茗溪学園は筑波大学の同窓会「茗溪会」が、100周年記念事業で設立した中高一貫校です。科学と自然にあふれた「筑波研究学園都市」の中に立地し、2011年より文部科学省スーパーサイエンスハイスクール、2014年からスーパーグローバル・ハイスクール・アソシエイト校に指定を受け、さらに本年4月より国際バカロレア認定校となりました。様々なプログラム・活動を通じて、「自ら学び、成長していく能力」である *Study Skills* を伸ばします。本校は「世界的日本人の育成」を教育理念に、創立当初から国際理解教育を重視し、現在、世界40ヵ国から約250名の帰国子女たちが在籍しています。海外留学にも力を入れており、多くの交換留学生たちと一緒に、中高校生たちが楽しく学園生活を送っています。学寮も完備しており、国内外から集まった中高男女150名と留学生の寮生たちが、国際色豊かに共同生活をしています。



茗溪学園中学校高等学校

文部科学省 スーパーサイエンスハイスクール指定校 スーパーグローバルハイスクール・アソシエイト指定校

国際バカロレア (IBDP) 認定校 *Established in 1979*

〒305-8502 茨城県つくば市稲荷前1-1 TEL: 029-851-6611(代) FAX: 029-851-5455

ホームページ: <http://www.meikei.ac.jp> e-mail: kouhou@meikei.ac.jp

◆建学の精神

「人類ならびに国家に貢献し得る『世界的日本人』を育成すべく知・徳・体の調和のした人格形成を図り、特に創造的思考力に富む人材をつくる」

この建学の精神を教育理念に「教育実験」であることを標榜し、理想の学校を設立すべく1979年4月創立致しました。(2019年創立40周年を迎えます)

◆特色ある取り組み

「生命尊重の精神を育て、自分で考え行動できる Study Skills を身につけた人づくり」目標に、次の5つの取り組みを実践しております。

(1)考える学習（野外調査、研究活動、探究活動）、(2)逞しい心身・豊かな情操（体育・芸術、部活動の奨励）、(3)人間尊重の教育（諸活動、宿泊行事等を通じて人間関係を深める）、(4)国際教育（広い視野を持ち、異文化理解、世界で活躍できる力を養う）、(5)的確な進路指導（自分の将来の目標、仕事を見つけさせる）

◆スーパーサイエンスハイスクール(SSH)/スーパーグローバルハイスクール・アソシエイト(SGH)指定校

筑波大学や国立研究機関が多数存在している筑波研究学園都市の地の利を生かして、科学技術及び現代社会の最先端に立ち、歴史的・文化的な視点を持つつ、国際的な視野で物事を考え、未知の課題に挑戦し解決する意欲と能力を高めながら、学び続けることできる生徒を育成していきます。また、創立当初より「課題研究」を通じて、自分の将来を見通した学びができるよう実践してまいりましたが、理系のみではなく文系の生徒も含めて、さらに学習意欲を喚起させるよう、様々なプログラムや体験学習、海外研修、国際交流等を実施しています。

◆「国際バカロレアディプロマ・プログラム」(IBDP)

平成29年4月、IB課程に1期生として12名が入学し、編入生1名を加えて13名でスタート。平成30年4月からの2期生は17名が在籍中です。高校1年次は、日本(茗溪学園)の高校卒業のための科目履修を集中的に行い、2年次からはIBDP科目履修に向けた「プレ・カリキュラム」を行っています。高校2年次～3年次は、各自「IBDP」科目を履修し、日本の高卒資格取得のための保健体育を、週3時間履修していきます。また、IBDPの導入により、IB課程以外の在校生徒にもIBの良さを取り入れたハイブリットな授業を展開していくとともに、今後さらに研究開発を進めています。

◆部活動等について

本学は「文武両道」を目指した諸活動を行っており、部活動の入部率は運動部が6割、全体では9割の参加率となっています。100名を超える部活動としては、ラグビー部(130名超)、吹奏楽部(100名超)などがあり、運動部・文化部ともにどの部活も大変活発に活動しています。

運動部では、県内の中学総体の総合順位で連続総合優勝するなど男女ともに活躍。中学では特に、剣道部、体操部、バドミントン部がこれまででも関東大会や全国大会で、個人・団体で入賞しています。

高校では、ラグビー部、剣道部、体操部、バドミントン部、テニス部、軟式野球部などの活躍が顕著で、関東大会や全国大会に毎年出場し、多くのクラブが優勝・上位入賞を果たしております。

文化部は、美術部、書道部、科学部の部員が多く、例年、全国大会、国際大会等で高い成果を出しています。美術展や書道展、科学部による研究発表、学会発表などは、これまで文部科学大臣賞や県知事賞受賞、国際大会への出場実績もあり、作品や研究結果が高く評価されています。

さらに、部活動以外に、芸術の授業作品や「個人課題研究」などにおいて多数、個人レベルでも入賞、表彰されております。